

# 資産運用会社にとって データセンターは不可欠な存在に

2019年5月24日

投資信託の運用会社は、運用から事務に至るまで、情報サービスをフル活用。情報サービス会社の裏で動くデータセンター抜きでは運営が成り立たない時代に。

クラウド情報サービスを  
運用会社も利用

投資信託の運用会社は、多くの企業が利用しているような顧客情報管理や人事・会社経理のためのクラウド情報サービスを利用しています。しかし、それだけではありません。投資信託運営に必要な様々な情報サービスを活用しています。

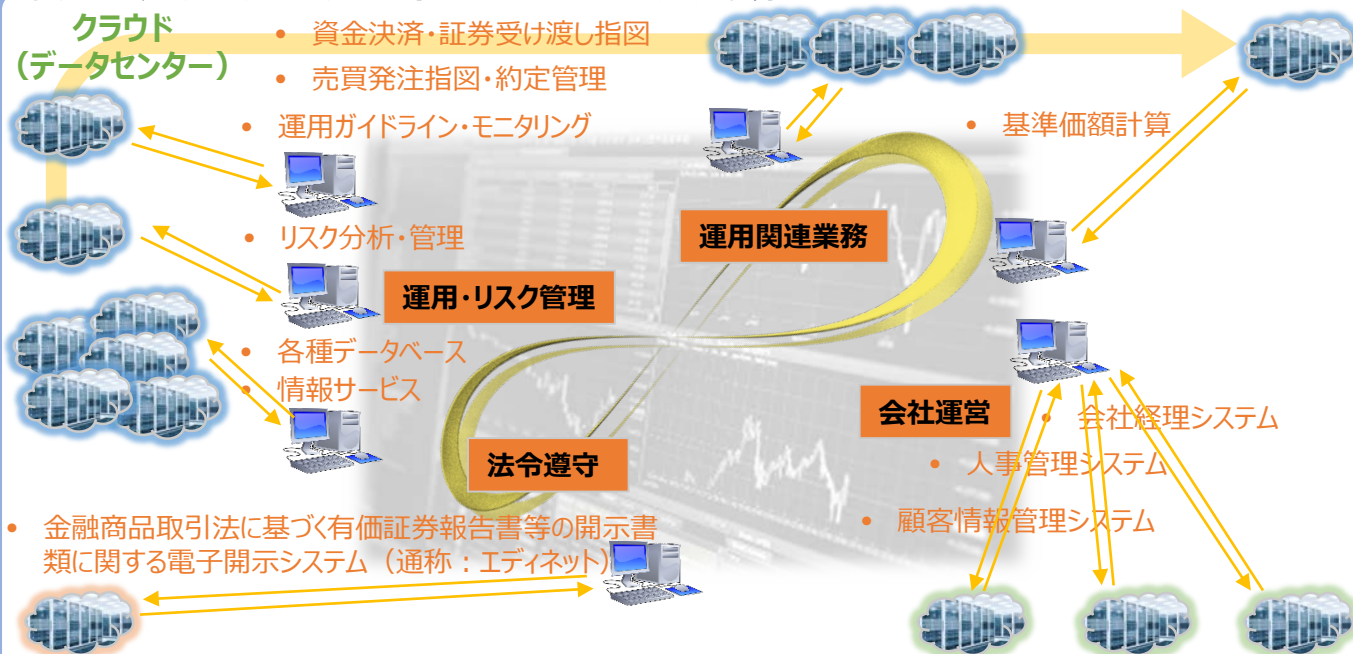
投資信託の運用に様々なクラウド情報サービスが

最近ではビッグデータが話題に上ることも多いですが、投資環境を分析するための各種データベースや投資対象の調査レポートや財務情報を入力・分析するための情報サービスを活用しています。ファンドのリスク分析・管理には、クラウド・ベースのシステムが使われ、売買発注指図や約定管理、資金決済・証券受け渡しも、クラウド上で処理されるシステムを利用しています。一連の流れに付随する詳細データは全て、クラウド上に保存されます。また、そのデータは別のモニタリング・システムに取り込まれ、運用ガイドラインを逸脱していないか否か、リアルタイムでモニターされることとなります。さらに、そのデータは投資信託の基準価額を計算するシステムにも取り込まれ、時価情報配信サービス会社から配信される個別銘柄の時価情報を適用して、基準価額を計算します。そもそも、証券会社や銀行等を通じて投資信託を募集するためには、金融庁が運営する「金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（通称：エディネット）」というクラウド・システムに各種法定書類を届け出る義務があります。

データセンター抜きでは  
投資信託は成り立たず

あくまで業務の一部を紹介しましたが、各種データは投資信託の運用会社にとって不可欠なものです。日々、膨大なデータを処理・保存しているデータセンター抜きに投資信託は成り立たないとも言えるのです。

## 裏で多くのデータセンターを利用している資産運用会社



上記イラスト等はイメージです。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。  
左記のQRコードもしくは ([https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech\\_infra.html](https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html)) からご覧ください。  
左記QRコードが読み取れない場合は、2ページ目に拡大したQRコードを載せていますので、ご利用ください。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。  
左記のQRコードもしくは ([https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech\\_infra.html](https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html)) からご覧ください。

## ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会